

「学ぶ力」	
成果	課題
◇共通指標から、自分の考えを進んで話したり、意見が違う人とも話そうとしたりするなど、「話す」力が伸びていると実感している児童が増えている。 ◇自分の意志をもって学ぶ子を学校全体で研究している成果から、共通指標21「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しようとしている」、共通指標22「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」、共通指標23「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」で増加傾向にある。	◇共通指標から、自分の考えを見直すことや振り返りを自己の成長につなげることに對して肯定的な回答をしている児童の割合が減少している。 ◇自分で決める力を育むための「みどりっ子学習（宿題以外の自主学習）」の取組を継続しているため、共通指標19の「自分で計画を立てて勉強している」の項目が74.6%と全市より高い傾向にあるものの、校内では R6 年度より-6.2%と減少傾向になっている。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」の肯定的な回答の割合は、昨年度まで減少しており、課題としていた項目だった。しかし R7年度の回答では、前年度よりも約1ポイント高くなった。他者と関わる中で、得た価値をお互いに実感する手立てや関わりは今後も続けていく必要がある。また、「自分が必要とされていると感じる」においては昨年度から減少し、札幌市と比べても低いポイントになっている。児童がお互いに肯定的なつながりができるようにすることで、自己有用感が高まると考える。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

学びに自分の意志をもつ子の育成

	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
取組	(1) 研究副主題「つなぐ学び」の実現 視点1 自らの学びをつなぐ 今までの学びの中から「今回はこの方法(学び)が使いそう」と選択し、活動を見通すことができる手立てを講じる。 視点2 他者の学びを自らの学びにつなぐ 目的をもって他者とつながる、他者との学びを通して新たな価値を見いだす手立てを講じる。	①自分で学習する内容を決める「みどりっ子学習」の推進 →HP やお便りなどでの、みどりっ子学習の紹介や啓発 →懇談会や研修、朝会を活用した、みどりっ子学習の目的の周知 ②「あこがれとありがとう」と「何のために★誰のために」を大切に活動 →行事、学習・生活場面の様々な場で考える場を設定 ③年3回実施の学校生活アンケートの実施・活用 →一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるようにするための丁寧な聞き取りや迅速な対応、共有の場の設定
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	◇学びポケット等を活用して、児童の考えの共有の充実を図り、本校の研究副主題にもある「つなぐ学び」の実現を目指す。	

<本プログラムの実行に向けて>

